

水道事業会計状況調書

当市の水道事業を取り巻く環境は、給水人口の減少や地域経済の低迷、さらには、節水意識の高まりや大口利用者の地下水利用等により水需要は大幅に減少していくと見込まれます。

本年度においても、この傾向は続くものと予測されることから、今後とも、業務の効率化や経費の節減対策、さらには、高金利で借入れしている起債の借換えを行うなどして経営の安定と健全化に努めるとともに、水道事業に課せられた使命である安全で良質な水道水を安定的に供給してまいります。

本年度の建設改良事業については、老朽管の更新及び公道内未布設箇所の新設と道路改良事業に併せ、移設・新設を行う予定です。

1 業務の予定量

項 目		業務の予定量
給 水 戸 数 (戸)		22, 137
年 間 給 水 量 (m ³)		4, 075, 000
一 日 平 均 給 水 量 (m ³)		11, 164
主 要 な 建 設 改 良 事 業(千円)		275, 162
内 訳	送配水施設整備事業(千円)	187, 133
	設 備 事 業(千円)	88, 029

2 主要な建設改良事業

詳細は、次ページ以降に掲載

3 企業債繰上償還について

公営企業経営健全化計画を策定し、経営改革に取り組む地方公共団体を対象に、平成19年度から21年度までの特例措置として、年利5%以上の公的資金(旧資金運用部資金、旧簡保資金、公営企業金融公庫資金)について、繰上償還時の補償金が免除されることになりました。これにより、21年度までの3年間に、総額約5億1千万円の繰上償還を行う予定であります。

【平成21年度繰上償還額】

旧資金運用部資金債(5%以上6%未満) 129, 140千円

【繰上償還による利子軽減額】

(単位:千円)

区 分	繰上償還額	借換債	利子負担軽減額
年利5%以上6%未満の 旧資金運用部資金	129,140	129,000	24, 490

※利子負担軽減額は、今後の利率変動により変わる可能性があります。

水道事業会計主要事業等調書

(款)資本的支出 (項)建設改良費 (目)送配水施設整備事業費 (節)工事請負費

図面 番号	区 分	施工場所	事業実施内容		予算額(千円)	備 考
		(工事箇所)	口 径(mm)	事業内容		
①	配水管改良	若山町2丁目	φ50	500m	52,800	1,550m
②		新生町5丁目	φ50	320m		
③		柏木町4丁目	φ50	400m		
④		千歳町4丁目	φ100	330m		
⑤	配水管移設	青葉町 (中央通)	φ100	100m	5,000	100m
⑥	配水管布設	若山町3丁目	φ50	250m	71,000	1,630m
⑦		登別東町5丁目外 (下水道関連)	φ50	500m		
⑧		常盤町3丁目	φ50	300m		
⑨		若山町2丁目外	φ250	580m		
⑩		登別温泉町 (温泉バイパス)	減圧弁φ200	1式		
	舗装復旧				10,000	
合 計			φ50~250		138,800	3,280m

(款)資本的支出 (項)建設改良費 (目)設備費

予算区分(節)	事業実施内容	予算額(千円)
量水器購入費	・水道メーターの新設、修理、破損分 ~ 320個 ・検満水道メーター分 ~ 3,122個	51,637
工事請負費	・貸付水道メーター(検満分メーター)取替工事 (φ13~φ50) 3,122個 ・登別温泉浄水場変圧器取替工事	33,767